

この式は変動の「中版定は顧切であることが対応るを、

図 1: dX+ y Xdt と正規分布 (いわき市)

0 0.1 dX+yXdt

-0.1

-0.3 -0.2

0.2

0.3 0.4

450

400 350

300

150

100

50

鰲 250 200

さら²に図1から得られた標準偏差を用い,空間線量率の変動幅を推定し実測値と比較した.標準偏差3つ分を超える変動が連続して出現した場合は,注意する必要があると思われる.



Shintaro Iida and *Yuko Hatano, Univ. Tsukuba